

パティシエ(菓子職人)を
 指す障害者を対象とした講習会
 「神戸スイーツ・コンソー
 アム」が16日、仙台市若林区で
 開かれた。

この企画は、障害者を支援し
 ようと、神戸市の社会福祉法人
 などが4年前から同市などで開
 催。今回は、被災地支援で、初
 めて県内で開かれ、県内の20
 40歳代の男女8人が、東京のフ
 ランス菓子店のシェフを務める

目指せパティシエ
 障害者支援の講習会

永井紀之さん(51)の指導で、プ
 リン作りに挑戦した。

被災地でのボランテニア経験
 もあるという永井さんは、「少
 しても被災地の力になりたかっ
 た。娘が障害を抱えていること
 もあり、今後も支援を続けたい」
 と話していた。参加した仙台市
 青葉区の海保幸江さん(28)は
 「食材を大切に作る姿勢を教わ
 った。普段のクッキー作りに役
 立てたい」と笑顔だった。



永井さん(中央)にプリン作りを教わる参加者